

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館情報提供サービス事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	07	02	56
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館の利用者	意図	図書館WEBシステムを利用して、来館しなくても資料の検索や予約ができるほか、図書館の行事、レファレンス事例などの情報を得られるようにする。
事業内容	図書館利用カードを持っている利用者はすべてパスワードを持つことが可能になり、WEBでどこでも流山市立図書館の蔵書検索、期間延長などを行うことができる。また市内・在勤・在学の利用者は予約することもできる。図書館のHP、ツイッターやフェイスブックから素早い情報発信をして図書館を生活の身近なものとして親しみをもってもらいたい。 図書館内でパソコンを貸出して検索用インターネットが使用できるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年10月の新電算システムの更新に伴い、検索・予約がスマートフォン等の最新キャリアにも対応できるようになり、電子書籍への対応、利用者自身により貸出期間延長も可能になった。平成27年11月より中央図書館のフェイスブックを開設し情報発信に努めている。平成30年10月に電算システムの更新を行い、「子ども向けページ」を新設するほかインターネットやスマートフォンの機能の充実を図った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	ホームページアクセス件数	978,145	1,300,776	1,550,764	件	↑↑↑	
②	蔵書検索件数	590,034	574,035	554,541	件	→→		
③	WEB予約件数	156,169	170,041	179,825	件	↑↑↑		
④	仮パスワード発行数	2,294	2,250	2,504	件	↑↑↑	新電算システムにおいて発行していない。	
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） WEBの予約件数が増えているがおおたかの森窓口センターで受け取りをする利用者の中には、WEBで予約し、予約資料の連絡もメールで行っているため、図書館から連絡がつかない利用者が増え支障をきたしている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		30,439,856	30,235,502	38,240,350				
事業費(b)(円)		24,724,056	24,642,102	26,760,290				
うち一般財源		24,724,056	24,642,102	26,760,290				
職員給与と費(c)(円)		5,715,800	5,593,400	11,480,060				
人役・職員(人)		0.80	0.80	1.32				
人役・再任用(人)				0.55				
人役・臨職(人)		0.20	0.20	0.94				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成30年10月1日から新電算システムを導入し、機能の充実を図る。	③取組における課題(Check)	電算更新において時間、人すべてにおいて準備不足であった。
②H30に実施した取組(Do)	新電算システムでは「子ども向けページ」を新設した。また、スマートフォン機能の充実も図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	5年後に電算の更新があるためより良いシステムが導入できるように準備する。